

# 子ども読書支援センターニュース No. 135

2015. 9. 1

山口県子ども読書支援センター（山口県立山口図書館）発行

TEL083-924-2111 FAX083-932-2817

<http://library.pref.yamaguchi.lg.jp>

## ★メールマガジン「本はともだち～山口県子ども読書支援センターニュース」配信中！

「子ども読書支援センターニュース」は、メールマガジン「本はともだち」でも読むことができます。  
新刊紹介や県内の行事など、より充実した内容で配信中です。読者登録の方法は県立図書館のホームページをご覧ください。

## 【山口県子ども読書支援センター行事】

### ★幼児のためのおはなし会

○日時：9月1日（火）11:00～11:40 ○会場：山口県立山口図書館 ○対象：2、3歳児とその保護者  
○内容：絵本の読み聞かせなど

### ★子ども読書ネットワークフォーラム in 下松

○日時：9月16日（水）10:00～14:45 ○会場：ほしらんどくだまつ  
○内容：講演会、事例発表、展示など ○講師：広瀬恒子氏（親子読書地域文庫全国連絡会 代表）  
○演題：「どうやって関わる？どうやって運営する？私たちのボランティア活動」  
○対象：市町立図書館職員、学校図書館関係者、読書ボランティア、子供の本に関心がある人  
○定員：80名（要申込み、先着順）○申込み・問合せ先：下松市立図書館（0833-41-0093）

## 【新刊紹介】 価格は消費税抜き

### <絵本-乳幼児から>

#### 『どんどんくるくる』 中尾昌稔／ぶん 岩田明子／え 大日本図書 2015.7 ¥1,300

ピンク色のふわふわが、どんどんくるくる。長細くなって、木の棒に巻きついたよ。なにかかな…？綿あめ！今度は、ご飯にのりが、どんどんくるくる。のり巻きだ！風車や観覧車も、くるくる回ると不思議なかたち。巻いたり、回ったりするものが登場し、あてっかが楽しめる。「くるくる」によって起こる残像や色の混じり合う不思議も感じられるユニークな絵本。

#### 『およげないさかな』 せなけいこ／作・絵 ポプラ社 2015.7 ¥1,300

海の底で、たくさんの魚の子が生まれたが、泳げない子がいる。「どうして僕、泳げないんだろ」。海の底を這っていた魚の子は、波打ち際で、同じく泳げない人間の男の子と出会い、スイミングスクールに通うことに。水着と水泳帽子を着て、バタ足の練習中、子猫がプールに落ちこた。それを見た魚の子は…。白、黒、赤のみで描かれた、素材で愛らしい一冊。

### <絵本-3, 4歳から>

#### 『おぼけだじょ』 tupera tupera／さく 学研教育出版 2015.7 ¥1,200

「おぼけだじょ」と現れた、火の玉を逆さまにしたような黒いおぼけ。こちらを驚かさうと「ばあつ」と凄むと、あれっ？足が生えた。もっと凄んだら、手が生えた。実はその正体は…、カエル！すると今度は、カエルの後ろに大きな黒い顔が現れて…？ハラハラドキドキ、予想外のどんでん返しの展開が面白い、子どもから大人まで楽しめる絵本。読み聞かせにも。

#### 『つまさきさんおやすみ』 パーバラ・ポットナー／文 マギー・スミス／絵 ふしみみさを／訳 光村教育図書 2015.7 ¥1,200

「寝る時間よ」とママに言われたが、まだ眠くない女の子フィオナ。ベッドに入り、つまさんに、今日は海に行ったね、と話しかけ、おやすみを言った。次は足の裏さんに。体ご順番に言っていくうちに、いっぱい遊び、楽しかった海辺の1日の出来事が一つ一つ甦ってきて…。昼間の興奮をゆっくりと冷ましていくくれる、幸福感に溢れたおやすみ前絵本。

### <絵本-5, 6歳から>

#### 『しゅん』 高部晴市／作 BL出版 2015.7 ¥1,400

男の子のしゅんは毎晩、盆踊りで叩く太鼓の練習をしているが、うまく打てない。ある夜、狐が現れて上達の方法を指南してくれる。次の夜にはウサギ、その次の夜にはタヌキ達が。ユニークな練習を重ねるうちに上達したしゅんは、本番、櫓の上で打ちたいが…？動物達も加わった盆踊りのクライマックスが楽しい。太鼓の音が、夏の夜空に響く様が心地よい一冊。

#### 『かもめたくはいびん』 いいひろし／著 白泉社 2015.7 ¥1,200

かもめの宅配便屋は、大忙し。店長さんが、配達員の応募写真の目や顔つきで選んだのは、なんと空を飛べないペンギンだった！受付をしてもらうが、かもめ達が怖がって仕事にならない。配達に行きたいと言ったペンギンに対し、店長さんは、ペンギンが海を泳げることに気がついて驚き、ペンギンは自分が空を飛べないのを思い出して驚き…。シュールで愉快なお話。

### <絵本-小学校低学年から>

#### 『One』 キャサリン・オートシ／作・絵 乙武洋匡／訳 講談社 2015.7 ¥1,600

大人しいブルーと、怒りんぼうのレッド。イエロー、グリーン、パープル、オレンジは、ブルーがレッドにいじめられるのを見るのが嫌い。どうしたらいい？そこに現れたのが、皆とまるで違う「1」。「1」の勇気ある姿に、皆も後に続き…！数字と色を使い、いじめに向き合う勇気の大切さを描く。全米で絵本・児童書に対して贈られる15の賞を受賞。数字絵本シリーズ。『Zero』が同時刊行。

### <絵本-小学校中学年から>

#### 『あひる』 石川えりこ／作 くもん出版 2015.7 ¥1,500

ある日、女の子の「私」が家に帰ると、あひるがいた。弟と、あひるを川で泳がせると、少し元気になった。また一緒に遊ぼうと楽しみにしていた次の日、学校から帰ると、あひるはおらず、母親達が夕飯の支度をしていて…。家畜を食べた話を通じ、食といの

ちの関係を、静かに、力強く伝える絵本。ノスタルジックな世界観、女の子の心が揺れ動く描写が切ない。

#### <読み物—小学校低学年から>

『どうくつたんけんゴー!』 長崎夏海/作 新日本出版社 2015.7 ¥1,300

学校の帰り道、小1のあさひは今日は一人で帰っている。いつも一緒のららちゃんとけんかしたから。暑くてふらふらするので涼しいところを探しているとなんと街の中に洞窟が?背中にかかったランドセルのセイル君と共に探検することに。セイルに助けられながら、困難に立ち向かっていく男の子のお話。ららちゃんと仲直りのきっかけもセイルが与えてくれる。

#### <読み物—小学校中学年から>

『電車でノリノリ』 新井けいこ/作 文研出版 2015.7 ¥1,200

小4で大阪から東京に引っ越してきた「わたし」。前の学校ではクラスの中心的存在だったのに、社会見学であまりもの同士の男女混合班に入れられるなんて…。しかも、みんな鉄道オタク。でも、社会見学に行ってみると仲良くなり、「わたし」もすっかり電車好きに。一方、クラスの人気者のグループの人とも友達になり…。鉄道の旅の楽しさも味わえる一冊。

#### <読み物—小学校高学年から>

『丸天井の下の「ワーオ!」』 今井恭子/作 くもん出版 2015.7 ¥1,300

しゃべるのなら誰より得意なのに…。読み書きが困難で、自分に絶望していた小6の学習障害児マホは、博物館で建物のスケッチばかりしている中学生の正樹に出会い、自分の創作した話を聞いてもらううちに、少しずつ自信をつけていく。ひと夏に成長する、学習障害児の姿を描く。自分の存在について悩み苦しむ思春期の子どもに読んで欲しい一冊。

#### <読み物—中学生から>

『14歳の水平線』 椰月美智子/著 双葉社 2015.7 ¥1,500

14歳、反抗期真っ只中の加奈太は、父との距離感がうまくとれない。そんな息子を夏休み、「神様の島」と呼ばれる故郷の島に誘う。島のキャンプで出会った友達との交流や衝突を通して成長する加奈太。一方、その島で育った父の少年時代の友情や進路の葛藤が島の生活を中心に描かれる。父と息子の14歳の物語。『小説推理』連載を改題し、加筆・訂正。

#### <ノンフィクション—小学校低学年から>

『見学!日本の大企業カルビー』 こどもくらぶ/編 ほるぷ出版 2015.6 ¥2,800

子どもたちに身近なお菓子企業「カルビー」。「自然の恵みを大切に活かす」という企業理念のもと、「ポテトチップス」や「じゃがりこ」などの人気商品が誕生した経緯や、高品質の材料を確保するための努力、積極的な販売戦略などを掲載。日本を代表する大企業(社員数や資本金が多い会社)の成功の背景にある生産、販売、経営の工夫などを取り上げるシリーズ。

#### <ノンフィクション—小学校中学年から>

『イラスト版子どものアンガーマネジメント』 徳真希・長縄史子/著 合同出版 2015.7 ¥1,700

「アンガーマネジメント」とは自分の怒りを知り上手にコントロールするためのスキルのこと。怒りの仕組みを知り、学校や家族でよくある、ついイラっとしてしまう場面では、どうやって怒りをコントロールするか、怒るならどんな怒り方をすればいいかを紹介している。エクササイズとして書き込み式のワークシートも掲載され、学級活動などの授業で活用できる。

#### <ノンフィクション—小学校高学年から>

『時代背景から考える日本の6つのオリンピック 1940年東京・札幌&1964年東京大会』 稲葉茂勝/文 ベースボール・マガジン社 2015.7 ¥2,800

1940年に東京と札幌で開催されるはずだったオリンピックが中止になったのはなぜ?1964年のオリンピックはどんな大会?2020年の東京大会を前に、日本と日本人がつくりだす社会情勢とオリンピックの関係、オリンピックのもたらす日本への影響を考える。2巻『1972年札幌・1998年長野大会』 3巻『2020年東京大会』

#### <ノンフィクション—中学生から>

『オキノタユウの島で 無人島滞在「アホウドリ」調査日誌』 長谷川博/著 偕成社 2015.5 ¥1,800

小学校高学年で鳥に興味を持ち始め、大学時代の偶然の出会いから始めたアホウドリの研究。伊豆諸島の鳥島にしか生息せず、1949年に一度は絶滅を宣言されたこの鳥の保護活動を40年以上続けてきた著者が、無人島生活の苦勞や研究の様子を克明な記録と美しい写真で紹介する。オキノタユウ(沖の太夫)は、山口県長門地方での呼び名。

#### <研究書>

『「本」と生きる』 肥田美代子/著 ポプラ社 2014.12 ¥780

童話作家である著者が、15年間の国会議員生活で取り組んできた子どもと読書の問題を振り返る。紙の本と電子書籍の違い、読書の持つ効用、教育現場のデジタル化、学校図書館の苦難の歴史、そして読書と日本人の未来についてなど。このたびの「学校図書館法」の改正や子ども読書年の誕生のいきさつなどを国会議員ならではの視点で語る。ポプラ新書。

#### 【県内の動き】

##### ★ブックスタート講演会

○日時:9月2日(水)13:00~15:00 ○会場:岩国市中央図書館 ○講師:NPOブックスタート職員  
○対象:ブックスタートに興味、関心のある人 ○照会先:岩国市中央図書館(0827-31-0046)

##### ★長谷川義史 絵本ライブ!子どもたちGO!

○日時:9月12日(土)13:30~15:30 ○会場:山陽小野田市立中央図書館 ○対象:4才~大人  
○定員:200名(先着順) ○参加費:500円(当日800円)  
○照会先:山陽小野田市立中央図書館(0836-83-2870)

##### ★柳田邦男講演会

○日時:10月4日(日)14:00~ ○会場:長門市中央公民館  
○講師:柳田邦男 ○演題:大人の気づき、子どもの成長 ~絵本・家読は心を育てる特効薬~  
○定員:400名(要申込) ○照会先:長門市立図書館(0837-26-5123)

※子どもの本や読書についてのイベント情報をお寄せください。